

# スカウト おおいた

第62号

2022年 1月 1日 発行  
日本ボーイスカウト大分県連盟  
編集 県連総務委員会

## 新年ご挨拶

公益社団法人

日本ボーイスカウト大分県連盟

理事長 戸高 有基

三指

令和4年の新春を迎えご挨拶を申し上げます。

皆様には平素より本運動にご支援ご協力を賜っていただきます事に厚く御礼感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界規模で発症して2年が経過しました。未だこの感染症を制圧できない状況で、世界中が経済活動を始めとして物事の多くが停滞しています。

このような環境の中、私たちボーイスカウトの活動も多くの制約の中で取り組まざるを得ませんでした。先ず、感染の蔓延を防ぐために多くの人々の集まりを止める、人と人との接触を避けるなど、スカウトとしての基本的な訓練や学習の機会が狭められた事にあります。

野外プログラムやキャンプ計画の立案にも指導者の皆さまには大変なご苦勞があった事と思います。

しかしながら、ノートパソコンなどを利用したりリモート会議や隊・班集会を開催するなど、新しい取り組みも進んできました。これからは、このような安心安全な集会も取り入れながら工夫して行きたいと思えます。

また、一昨年より取り組んでいます「自然体験活動」も各地区の皆さまのご協力を戴き多くの子供たちの参加を得ました。ボーイスカウトの認知と入団への繋がりに手応えを感じています。

本年は、1922年（大正11年）に少年団日本連盟が発足して100周年を迎える記念の年となります。8月の第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）を始めとして各種の記念事業が計画されています。特に、18NSJは、東京会場だけではなく全国のブロックや県連盟単位での全てのスカウトが参加できる記念大会となります。

世界のスカウト運動の取組と併せて未来の子供たちへより良い地球環境を残して行けるように挑戦して行きましょう。「継続は力」と言われます。次の100年へ繋げるように本年の活動にも皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

この一年が各団・隊の発展とスカウトの活躍の年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

弥栄

## 進級章〔菊章・隼章〕 交付

菊スカウト章を取得された2名のスカウト  
隼スカウト章を取得された1名のスカウト  
誠におめでとうございます。

菊スカウト章

桑野 萌衣

大分第1団

江上 颯人

大分第1団



隼スカウト章

山形 理徳

大分第2団



# 第8回ビーバーフェスティバル

第8回ビーバーフェスティバル  
令和3年11月3日 由布市挟間体育センターにて開催

参加者 総勢88名(スカウト・指導者・保護者)

「オリ！ パラ！ ビバ！」をテーマに、みなさんでゲームを楽しみながらポイントめぐりを進めていきました。



# 第8回カブフェスティバル

第8回カブフェスティバル  
令和3年10月10日 大分市田ノ浦ビーチ

参加者 カブスカウト57名

「大分最強カブリンピック 2021  
～みんなちがってみんないい～」をテーマに、最強チームを目指して必死に頑張りました。



## ボーイスカウトと遊ぼう！

### ワクワク自然体験あそび

令和2年度、文部科学省から委託を受けて「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」を全国各地で1万人を超える子ども達に参加頂きましたが、未だコロナ禍により、子ども達を取り巻く環境は一層厳しくなっている傾向があります。引き続き、令和3年度も委託を受けて大分県連盟におきましても「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」に取り組んできました。

- ①8月1日にビーバー鬼たいじ(杵築市 天満児童公園)
- ②10月31日にデイキャンプ体験(宗麟大橋河川敷)
- ③11月3日にビーバー鬼たいじ(挟間体育センター)
- ④12月4日「ワクワク自然体験あそび」(杵築横岳)で開催し、たくさんの参加者に体験して頂きました。





# 「コロナに負けない工夫した活動を」

## 中津第8団



10月24日(日)、  
青の洞門周辺の6kmで  
遍路体験を行いました。  
お遍路体験の後はお寺体  
験です。  
座禅に写経に多くの体験をしました。



11月7日(日)、  
ビーバー隊と合同  
で収穫祭(いもほり)  
を行いました。  
農作物に感謝して  
収穫を祝いました。

11月28日(日)、  
計測と追跡サインを  
中津市近郊の大池公園周  
辺で行いました。  
追跡サインを正しく読めた  
ので、設定したコースを時間  
内に戻ってこれました。



## 別府第9団



10月3日、「募金お願いしま〜す！」別府駅  
前の人通りも少なくて最初は苦戦しましたが、  
少しずつ声も大きくなりました。



嬉しいことに入隊希望者が増加。  
10月31日は今年度2回目の入隊式  
でした。新しい仲間と一緒に活動が  
これから楽しみです。



## 大分第1団



大分第1団の秋の恒例行事となった団でのハイキ  
ング。今年は涌蓋山の麓にあるみそこぶし山へ出かけ  
ました。  
ビーバーからベンチャー、保護者、指導者合わせて約  
40名で貸し切りバスに乗って、くじゅうスキー場そ  
ばの登山口より行動開始。







見晴らしの良い約7kmの行程をみんなで楽しく歩きました。  
 天気にも恵まれコロナで縮こまった体をほぐす秋の一日になりました。



### 大分第2団

#### 42歳新米隊長 出動!

10月より隊長が変わりましたが、5名のスカウトはいつも通り元気に活動に参加しています。

楽しいときには笑い、面白くないときはブスツとしてる。感情を素直に表すって素敵です。



今日は、隊長の住んでいる日出町を探検だ！  
 ここは、豊後豊岡駅の前



ジャングルジム



こいのえさやり



ドングリ拾い



### 大分第5団



大分第5団は、12月5日(日)日吉神社にて演劇会を行いました。

ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊と様々な出し物をして会場を盛り上げていました。

また、同時にビーバー隊の入隊式と各隊スカウトの表彰も行い、久しぶりの団活動を楽しみました。

### 大分第9団

ボーイ隊、11月の隊集会 今回の訓練は、救急法です。

午前中は止血法を学んで、午後からは、急造担架を



実際に作って搬送訓練、なかなか重くて上手く運べません。みんなで力を合わせて何とか運べるようになりました。救急法はいざという時必要な技能、知識です。



11月14日に佐伯の元越山に登山に行きました。ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊が参加、天気に恵まれて登山日和でした。



結構上りがキツイ所も有り、苔が生え滑りやすい所も有り苦戦しながらもスカウト達は元気よく登りました。

頂上では 360 度の大パノラマを満喫しました。



昼食を食べて、皆でゲームをして楽しい時間を過ごしました。下山した後は、帰りに「空の公園」経由で展望台へ、佐伯（鶴見半島）の綺麗な海を目の前に眺め、山と海を満喫した一日でした。

### 由布第2団



由布第2団は、「ワクワク自然体験あそび」への参加者を対象に、11月23日（火・祝）、おおつる交流センター（由布市庄内町）で、「みんな集まれ自然と遊ぼう！」のテーマで、自然体験ゲームや自然工作を行いました。

参加者は、自然の中に隠されている人工物を探し出すゲームや、ロープを使って言葉と体を正しく動かすゲーム等を行いました。また、自然の中へハイキングを行って、クリスマスツリーの材料を見つけ出し、その材料を使って、クリスマスツリーの工作を行いました。

このようにゲームを通じて観察力を養ったり、判断力を鍛えたり、創造力を伸ばすような活動内容により、参加者は、ボーイスカウトの活動について、若干のご理解を頂いたのではないかと思います。

最後に、由布第2団や他団等の活動紹介を行って、広報活動の一環とさせて頂きました。

### 津久見第1団



12月12日ビーバー隊とカブ隊は津久見市の青江ダムでたき火をしました。

紅葉した森と青空に囲まれて、雰囲気もばっちり。マキ割をしてマッチで火をついたら、自分たちで探してきた小枝を燃やして楽しみました。

お楽しみの焼きマッシュマロも美味しかったね。カブ隊は木の枝を紙やすりで、すべすべになるまで磨くクラフトも挑戦しました。



11月13日～14日にボーイ隊、ベンチャー隊は合同でつくみん公園キャンプを実施しました。寒い天気となりましたが、女性リーダーのデビューキャンプ、市民PRのよい機会となりました。

## プログラム委員会

1. 第8回カブフェスティバル
  - ◇とき 10月10日(日)
  - ◇ところ 大分市田ノ浦ビーチ
  - ◇テーマ 「大分最強カブリンピック2021  
～みんなちがってみんないい～」
  - ◇参加者 スカウト57名

2. 第8回ビーバーフェスティバル
  - ◇とき 11月03日(水)
  - ◇ところ 由布市挟間体育センター
  - ◇テーマ 「オリ! パラ! ビバ!」
  - ◇参加者 総勢88名  
(スカウト・指導者・保護者)

## 指導者委員会

1. 第29回ボーイスカウト講習会
  - ◇とき 10月24日(日)
  - ◇ところ 坂ノ市公民館
  - ◇参加者 12名 \*保護者 10名  
\*スカウトOG 2名



2. 第1回ボーイスカウト体験会
  - ◇とき 11月14日(日)
  - ◇ところ 大分県森林づくり  
ボランティア支援センター
  - ◇参加者 4名
  - ◇テーマ「読図」
  - ※「地図が見られるようになってうれしかった。」  
(参加者感想)



3. WB研修所 課程別BVS部門(大分第2回)
  - ◇とき 11月28日(日)
  - ◇ところ 大分市南部公民館
  - ◇参加者 2名
  - ※スカウトコース修了された指導者の方は  
是非受講して頂きたいです。



## 第18回日本スカウトジャンボリー大会情報

テーマ 「100+f～自分のfを探せ～」  
自ら考えるf (future, friend, family, faith, fun, face, fuji など)を探して  
未来に向かっていく、  
スカウトの自主性と発信していく姿を  
テーマとします。

会場 全国各地に分散して開催  
2022年の夏休み期間、サテライト会場や  
全国各地のキャンプにより分散開催します。

分散開催について  
18NSJは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初計画していた日本全国から一堂に集まるキャンプ大会では、スカウトの安全を確保することは難しいことから、各ブロック、県連盟、地区、または隊の規模での全国のあらゆる場所での、分散開催という今までとは違う形で開催します。

中央会場・サテライト会場 2022年8月7日～8日の2日間をコア期間として、首都圏の中央会場と全国各地にサテライト会場を設置して分散開催します。各会場には、他の県連盟やブロックからの参加者受入も計画します。